

今日における韓国漢字語

— 三字漢語の語構造とその語構成要素を中心に —

崔 紅 女

はじめに

日本と韓国は、ともに漢字文化圏に属しており、二ヶ国語での漢語の果たす役割がきわめて重要であるという共通点を持っている。特に韓国は、日本語と同様に中国語の影響を大いに受けながら、19世紀末以降日本語から多くの漢語を受け入れ、造語法においても影響を受けていると指摘されている^{注1}。

従来、日韓両言語における共通の漢字表記語についての研究は量的研究、個々の語の意味用法に関するものが中心であり、特定の資料を対象として、その語構造と語構成要素の特徴を論じたものは多くを見ない。そこで本稿では、日韓両言語における漢語への対照比較研究を進展させる試みの一つとして、『北朝鮮住民が知っておくべき韓国語彙 3300 語 — 新聞、TV、実生活で使われている用語 —』（2000）を用い、その中から三字漢語（411 語）を抽出し、対応する日本語と比較しながらその語構成要素を品詞性と結合関係の観点から考察していきたい。

1. 三字漢語の語数とその種類について

まず、本稿では資料における漢字語の枠の 2239 語の中で混種語を除く、純粋な三字漢語（全部漢字で表記できる）411 語を抽出した。そして、それに対応する日本語を『朝鮮語辞典』（小学館、2003）、『韓日辞典』（民衆書林、2004）を利用しながら、インターネットにも検索をかけその使い方が比較的安定しているかどうかを調べてみた。その結果、漢字で表記する際、全体の 44.2% を占める 182 語が日本語と同じ漢字で書いていることが分かる。その種

類を語例と一緒に取上げてみると、以下表1のとおりである。なお、記述の便利のために日韓両言語における異なる漢字字体を、すべて日本語の漢字字体に統一する。

表1 三字漢語の種類

種類		同形語	異形語
単純語		比丘尼	
合成語	複合語	落下傘、突然死、盲導犬、免罪符、門男児、殺生簿、金一封、愛弟子、復帰戦、注意報等	家口主、公衆湯、期待株、祝発展、韓国新、走行税、公主病、犠牲羊、学父母、地球村等
	派生語	端末機、同好会、保育園、不感症、庶民層、成人式、手数料、大株主、青写真、披露宴等	仮押留、天使票、拒食症、軍畢者、同居女、謝恩品、三修生、送達料、始務式、平常服等
	略語	妊産婦、毒劇物、官公署 (3語)	開途国、非需期、生保者、長短点、親姻戚、特日高、火生防、幼少年、地自団等 (20語)

2. 三字漢語、及びその語構成要素への分析

形態素は、「有意義の最小言語形式」であって、語の構成要素である。そして、語を構成する際の機能に応じて、形態素は、語基・接辞・助辞の三種に分けることができる。日本語の語彙体系を記述する上で、形態素の整理は、特に重要だと指摘している^{注2}。

上述の三字漢語は単純語を除き、大きく二つ以上の語基からなる複合語と、語基と接辞からなる派生語に分けられる。漢語の場合、語基は、具体的には一字もしくは二字の漢字によって構成される要素を指している。韓国語も日本語のそれと全く同様であるものの、語基に対して語根という漢字表記語を使っている。そこで、本稿では分解の可能不可能を問わず、二字漢語を一語基と見なすことにする。それでは、これらの語構成要素が語を構成している実態について、その品詞性の面と結合関係の面から概観してみよう。

2.1 一字の語構成要素

まず、三字漢語 411 語の語構成要素である、自立・結合形式の一字漢語及び接辞をその使用頻度順に並べてみた。以下で、日本語と同じ形になる語と異なる形になる語とに分け、使用頻度が三回以上のものをその語例の一部とともに取上げてみることにする。

表 2 一字の語構成要素

順位	同形語		異形語	
1	的 (11)	先導的、可及的、明示的、微温的、逆說的、画一的	者 (11)	内定者、防犯者、経歴者、露宿者、提訴者、伴侶者
2	者 (11)	高齢者、容疑者、公職者、失業者、滞納者、退職者	式 (7)	懸板式、終務式、発隊式、追念式、出征式、始務式
3	会 (7)	懇談会、試飲会、公聴会	的 (6)	独歩的、原色的、宥和的
4	家 (5)	愛妻家、恐妻家、名望家	金 (6)	元利金、賞与金、登録金
5	感 (5)	劣等感、危機感、違和感	人 (5)	障害人、同好人、演芸人
6	機 (4)	端末機、自販機、耕耘機	圈 (5)	中位圈、運動圈、領南圈
7	人 (4)	内国人、外界人、異邦人	性 (4)	免避性、正体性、正統性
8	化 (4)	活性化、可視化、公論化	感 (4)	現場感、罪責感、迫近感
9	婦 (3)	妊娠婦、派出婦、家政婦	員 (3)	警護員、任職員、集配員
10	性 (3)	夜行性、一回性、蓋然性	策 (3)	自救策、解消策、次善策
11	力 (3)	実行力、判別力、瞬発力	心 (3)	自矜心、衡平心、疑懼心
12	式 (3)	任官式、金婚式、成人式	大 (3)	大団地、大役事、大暴炎
13	品 (3)	遺留品、中古品、所蔵品	症 (3)	疑夫症、疑妻症、拒食症
			他 8 語 (3)	謝恩品、開天節、三修生、讓渡税

上の表 2 で見るように、同形語、異形語いずれにおいても「的、者、式、感、人、性」は、日韓両言語の中で名詞性接尾辞的な機能を果たしながら、派生語を生成する上で必要不可欠な存在であることが明らかになった。また、「～者、

～式、～的、～人」のような接尾辞が日本語から韓国語に入ってからさらにその機能が拡大し、日本語よりも多用するようになったことが言えよう。

次に、日本語の漢字一字の語構成要素と意味用法が異なるものを以下で紹介したい。

(1) 王：王初歩 (ゼロから始まる、初心者)

日本語では、遊戯王、ゲーム王、野球王、バイク王、駐車王、筆王のように首位にあるものという意味を表しながら接尾辞として使われている。これに対して、韓国語では日本語のその意味合いとともに、非常に大きいことを表したり、またその程度が度を越す事態のことを指し示す接頭辞としても使われている。多くは、「栗 (밤)、えび (새우)、蠅 (파리)、蟻 (개미)」のような固有語と結合して複合語を生み出す。

(2) 太：太不足 (非常に不足している)

「太」は、日韓両言語ともに「はなはだ」の意味が記述されている。韓国語において「太不足」は、その意味に基づく複合語であり、非常に高い頻度で使われている。しかし、日本語では「ふとい、ふとる」という日本語の独特の意味を付与することによって、「はなはだ」といった意味があまり意識されなくなったと考えられる。

(3) 病：公主病、王子病、外遊病

韓国語では、名詞的要素または動詞的要素に「病」を後接して、身に付いて直らない悪い癖という抽象的な意味を表している。それに対して、日本語では同じ意味を表すのに「持病」という二字漢語が使われているが、「悪い癖」より「なかなか直らず、常に、または時々起こる病気」のことを指し示すイメージが強く感じられる。

2.2 二字の語構成要素

日韓両言語の三字漢語を比較する上で、その構成要素である二字漢語への分析が必要になってくる。以下で、二字漢語の異表記によって生じたずれを見てみることにする。

韓国語		日本語	韓国語		日本語
経歴者	—	経験者	仮押留	—	仮差押

追念式	—	追悼式	修鍊医	—	研修医
注油所	—	給油所	任職員	—	役職員
養護室	—	保健室	家口主	—	世帯主
淑女服	—	婦人服	研鑽会	—	研究会

二字漢語「経歴、経験」「養護、保健」「修鍊、研修」は、日韓両言語ともに存在しているが、接辞をつけて三字漢語になるとお互いに通じなくなる。また、日本語の「役員」に対して韓国語では「任員」が使われているので、三字漢語「役職員」と「任職員」のずれが生じる。そのため、語彙教育において日本語・韓国語の三字漢語の誤用を防ぐためには、その語構成要素である二字漢語との比較も、必要な手続であると考えられる。

2.3 日本語の二字漢語が、韓国語では三字漢語に

韓国語		日本語	韓国語		日本語
告天文	—	告文	送達料	—	送料
礼式場	—	式場	収養女	—	養女
伴侶者	—	伴侶	祝儀金	—	祝儀
慶弔事	—	慶弔	賞与金	—	賞与
元利金	—	元利			

김광해·권재일『国語知識探求』(2004)によると^{注3}、漢語は意味が重複する固有語の形態素をつけて、形成される例も少なからず存在し、この現象は言語経済原則に反することになると指摘している。その現象は固有語にとどまらず、「伴侶+者、慶弔+事、元利+金、賞与+金」のような「漢語+漢語」の構造にまで起きている。

2.4 その他

A. 日本語では、従来中国から伝わってきた故事熟語を、その構造に倣い四字熟語を作っていたが、韓国語ではその格関係を表す助辞を略し、三字漢語にしたものがある。

韓国語		日本語	韓国語		日本語
次善策	—	次善の策	伯仲勢	—	伯仲の勢
背水陣	—	背水の陣			

B. 次に、韓国独自の文化的・社会的背景を知りうる三字漢語をいくつか紹介したい。

(1) 十部制

2003年2月17日に、交通政策上で道路混雑を緩和するために作成した方案である。例えば、アラビア数字1のつく日は、末尾1の車は自制することをいう。

(2) 軍畢者(軍務を終えた人)、軍未畢(軍務を終えていない人)、当番兵
韓国の男性社会では、兵役の義務制度が実施されている。そのために、上記の3語をはじめ、復学生(軍隊から復帰した学生)、現役、予備役、補充役など数多くの軍隊生活にかかわる用語がよく使われる。

(3) 長修生、三修生、再修生(二浪)

卒業年度に上級学校への進学試験に合格できず、1年間または多年間学籍なしに過ごす人を、「三修生」「再修生」と呼んでいる。また、30代前半から半ばで大学入試に挑戦しようとする人のことを「長修生」と呼ぶ。

C. 造語法の一つである、省略によるものを見てみる。

同形語：官公署、妊産婦、毒劇物(3語)

異形語：開途国、民官軍、生保者、生必品、主思派、査夫人、換差損、
総土税、勤基法、老益壮(20語)

異形語には、「官署+公署→官公署」のような同形語と同じ構造をしているものがあれば、日本語から入って来た「開発途上国、生活保護者、生活必需品、総合土地税」をさらに二字語に縮約したものもある。また、韓国の漢字意識で「民官軍(人民、官吏、軍隊)、特目高(特別な目的で、運営する高校)、査夫人(相やけの母親)、勤基法(労働基準法)」など独特の三字漢語を形成し、使用している。ここで特に興味深いのは、中国語「老当益壮」の四字熟語を受け入れた後、時間を表す漢字「当」を切り捨てて、「老益壮」の三字語を作って「老いてますます盛んになり」の意味を表していることである。

3. 語構成要素の品詞性と結合関係

複合語は、語と語とが結びついたものであり、合成語とも呼ばれるが、これ

は、どんな語が、どのような関係で結びついているかによって、さらに細かく分類していくことができる。まず、最も一般的な分類は、複合語を構成している語の品詞性に基づく方法である。次に、複合した語の意味関係に基づく分類である^{注4}。

体言類 (N) 主に事物の名称を表し、いわゆる名詞に相当するもの。数詞も含める。

相言類 (相) 事物の性質や状態を表すもので、形容詞や形容動詞の語幹がそれに当たる。

用言類 (V) 動作や作用を表し、いわゆる動詞に相当するもの、また動詞の転成名詞や、「する」と結合して動詞になるものも含める。

その他 (副、連体) 副詞的や連体詞的なもの、あるいは接辞的で品詞性の決め難いものなどを含む。

以下で、上述の分類にしたがい語構成要素の品詞性を明らかにし、またそれぞれ品詞性を持つ語構成要素の組み合わせとともに語例を示したものである。

表 3.1 異形語の品詞性

異形	品詞性	
	N+N	体力章、車計簿、巨物級等 (78 語)
	N+V	長期囚 (1 語)
	N+ 相	原色的、異例的、韓国新 (3 語)
	V+N	祝発展、内定者、感謝牌等 (97 語)
	V+V	計体敗 (1 語)
	V+ 相	宥和的、独歩的 (2 語)
	相 +N	特別展、怪便紙、正規職等 (13 語)
	相 +V	逆帰省 (1 語)
	相 + 相	猪突的 (1 語)
	副 +N	一番地、最高齢 (2 語)
	副 +V	暗埋葬、未転向、急浮上等 (8 語)
	副 + 相	超非常 (1 語)
	略語	開途国、換差損、査夫人 (20 語)
	連体 +N	現住所 (1 語)

表 3.2 同形語の品詞性

同形		
	N+N	手数料、機内食、前夜祭等 (68 語)
	N+N+N	真、善、美 (1 語)
	N+V	力不足、右回転、金一封等 (4 語)
	N+ 相	拳国的、微温的、逆説的 (3 語)
	V+N	耕耘機、落下傘、披露宴等 (71 語)
	V+ 相	偶発的、威圧的、先導的 (6 語)
	相 +N	大先輩、中古品、不感症等 (16 語)
	副 +N	蓋然性 (1 語)
	副 +V	急進展、安楽死、軟着陸等 (5 語)
	副 + 相	可及的、最年少、最年長 (3 語)
	略語	官公署、妊産婦、毒劇物 (3 語)
	借用語	比丘尼 (1 語)

上の表3から、全体として次の傾向を指摘することができる。

- ①「体言類」の語構成要素は、同形語・異形語のどのグループでも最も多い。「体言類+体言類」「用言類+体言類」「相言類+体言類」のように体言類が後接するものは、「公衆湯」「不寝番」「悪天候」のように修飾・被修飾の関係で結合している。「体言類+用言類」「体言類+相言類」のように、前接する体言類の語構成要素を用・相言類の語構成要素が受けるものは、「長期囚」「韓国新」「力不足」「金一封」「一番地」「最高齢」のように、主語-述語あるいは修飾・被修飾の関係で結合していると見られる。
- ②品詞性では、「用言類+体言類」が同形語・異形語の中でそれぞれ42.3%と39.0%であり、圧倒的に高い比率を示した。次に、「体言類+体言類」が34.0%と37.3%であり、それに次いでいるのが分かる。
- ③同形語と異形語を分けてみた時、異形語には「逆帰省」のように用言類が後接する「相言類+用言類」構造が見られる。それに対して、同形語にだけ「真善美」のように「相言類+相言類+相言類」の構造が見られる。従来、日韓両言語には「逆効果」「逆作用」のような「相言類+体言類」が一般的であっ

た。ところが、90年代から日本語には「逆引き」、韓国語には「逆帰省（上京している子供を、両親が会いに行くこと）」が使われ始めて、比較的新しい構造であると言えよう。

表4 結合関係

	異形語 (231 語)		同形語 (183 語)
並列	民官軍 (1 語)	並列	真善美 (1 語)
補助	罪責感、領域別、免避性 (15 語)	補助	看護師、当為性、恐妻家 (34 語)
連体	走行税、平常服、森林浴 (199 語) (85.7%)	連体	期待値、大株主、不寝番、擦過傷 (136 語) (74.7%)
連用	老益壯、未修復、再激突 (16 語)	連用	逆転勝、突然死、急進展 (8 語)
客体	祝発展 (1 語)	補足	金一封 (1 語)
		主述	力不足 (1 語)

- ①異形語・同形語の結合関係を見ると、いずれも連体による修飾関係が最も多く、次に連用修飾関係と補助関係が続いて、客体関係と並列関係と補足関係が極端に少ない。いわば、修飾による結合関係が平均的に80%を超えていることが分かる。
- ②「金一封」のような普通の漢文法から離れた、日本独特の語構成構造^{注5}とみられる補足関係（「目的語＋述語」）は、二字漢語と同様に日本語から受け入れ、その造語法を応用することなくそのまま使い続ける段階にとどまっている。
- ③補足関係以外に、同形語と異形語に客体関係と主述関係による成立した語が一例ずつある。今回得られた結果のように、日本における三字漢語の語構成では客体関係によって生成されるケースが存在していないのか、または韓国語において主述関係による三字漢語がまだ日本語または中国語からの借用の段階にとどまっているのかが、興味深い。

4. おわりに

本稿では、韓国語における三字漢語の語構成要素にどのようなものがあり、日本語との比較を通してどのような性格を持つのかということを見てみた。本

来なら、調査対象に対してもっと詳しい分析が進められるべきであるが、それは果たせず概観することにとどまった。今後、日韓両言語におけるもっと多くの三字漢語を収集して分析し、それらをその共通点、及び相違点について、詳しく論を進めていくことを望みたい。

<注>

- 1) 李漢燮「近代における日韓両語の接触と受容について」『国語学』第54巻3号(2003)
- 2) 森岡健二『語彙の形成』(1987, 明治書院)
- 3) 김광해·권재일等 『国語知識探求』(2004, 박이정出版社)
- 4) 山下喜代「語の構成要素—国語辞典における「造語成分」について—」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』(1994)
- 5) 崔紅女「今日における韓国漢字語」『比較語彙研究 X』(2006, 語彙研究会)

参考文献:

- 1) 秋元美晴『よくわかる 語彙』(2002, 株式会社アルク)
- 2) 陳力衛『和製漢語の形成とその展開』(2001, 汲古書院)